

MIEF 通訳・翻訳パートナー制度をご利用いただく前に（お願い）

このたびは、MIEF 通訳・翻訳パートナー制度をご利用いただき、誠にありがとうございます。

当該制度の趣旨をご理解いただいたうえで、事前の準備、調整にご協力をお願いします。

* MIEF = Mie International Exchange Foundation（三重県国際交流財団）

● MIEF 通訳・翻訳パートナーはどんな人？

「地域社会の役に立ちたい」「学んだ語学力、知識や経験を活用したい」等の動機により、任意でご登録いただいております。語学に関する資格や経験は自己申告のみで、こちらで厳密なレベルチェックや登録試験等はありません。家庭や仕事などで忙しい中、可能な範囲で活動をしていただいております。

ご注意）パートナーの通訳・翻訳活動内容から生じるトラブルについては、パートナー及び当財団は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。

● MIEF パートナーが通訳・翻訳できる内容

依頼者は地方公共団体、教育機関、国際交流・国際協力・多文化共生を推進する非営利団体等とし、かつ公益に適う内容の依頼に限ります。個人からの依頼はお受けできません。

○ 依頼できるもの（主な例）

<通訳> ※同時通訳はいたしません。逐次通訳のみです。

- ① 公的機関、教育機関等での外国人住民の相談における通訳
- ② 教育機関等における児童生徒や保護者対象の説明会、個別面談での通訳
- ③ 国際交流や多文化共生に関わるイベントにおける通訳
- ④ 公的な観光案内所やツアー等における観光案内の通訳（※言語面でのサポートのみです）
- ⑤ パーティー等での参加者同士の交流における通訳

<翻訳>

- ① 保育園、教育機関、行政窓口等における簡単な資料の翻訳（できるかぎり平易な日本語にしたもの）
- ② 国際交流や多文化共生に関わるイベントにおけるちらし・ポスターなどの翻訳
- ③ 学校から保護者への簡単な通知文

× 依頼できないもの

パートナーに精神的負担がかかる場面、厳密な正確性が求められる場面、高度な専門性が求められる場面、交渉に関する場面での通訳・翻訳は、お受けできません。

<通訳>

- ① 活動内容、目的、対象が不明確なもの
- ② 高度な専門性、正確性を必要とするもの

例) 医療機関での専門的内容を含む場面での通訳 (※MIEF 医療パートナーをご検討ください)、講義や講演会の通訳、裁判所や警察における通訳、行政機関の首長付通訳、取材に関する通訳など

③面接や試験における通訳

④金銭関係、団体交渉、法的トラブル、もしくはトラブルに巻き込まれる可能性がある場面での通訳

例) 労働条件・保険金の支払いなどの交渉、不動産の契約、契約書・同意書の説明など

⑤行政処分に関するもの

例) 交通違反の出頭など

⑥布教活動に関するもの

⑦営利目的の活動と思われるもの

⑧その他、当財団パートナー制度でお受けすることが難しいと判断されたもの

<翻訳>

①分量が多いもの (※原則として1ページ400字以内×3ページまでです)

②翻訳後、印刷・製本等して広く一般に配布するもの

③高度な専門性、正確性を必要とするもの

例) 医療機関の間診票や調査票・診断書、講義・講演会の資料、公文書、研究・調査・論文執筆に関するもの、レポート、団体規約の翻訳など

④イラストの挿入が多かったり、レイアウトが複雑であったりして、直接訳文をいれることが困難なもの

※表やレイアウトの調整などはいたしません

⑤金銭関係、団体交渉、法的手続きに関する書類

例) 労働条件・保険金の支払いなどの文書、不動産の契約、契約書・同意書など

⑥行政手続きに関する証明書など

⑦布教活動に関するもの

⑧営利目的の活動と思われるもの

⑨その他、当財団パートナー制度でお受けすることが難しいと判断されたもの

●MIEF 通訳・翻訳パートナー制度 ご利用のポイント (□に✓を入れながらご確認ください)

<通訳>

□ゆとりのある時間設定

*できるだけ当日に事前打ち合わせをお願いします。打ち合わせ時間も依頼時間に含めてください。

*時間の延長が予想される場合は、その時間も含めて依頼時間としてください。なお、依頼時間より早く終了した場合でも、ご依頼時の時間分を請求させていただきますのでご了承ください。

*予定より延長したい場合は、終了予定時間になる前に、必ず依頼者からパートナーに確認してください。通訳途中にパートナーから時間について申し出るのは難しいため、ご配慮ください。パートナーは他に仕事をしていたり、小さいお子さんがいる方も多いため、当日の急な延長がないようお願いいたします。

*日本語と通訳語で、通常の2~3倍の時間がかかります。

お願い) 通訳は非常に高い集中力が要求されます。適度な休憩を入れるようお願いいたします。

プロの通訳者でも、10~15分間隔で休憩をとりながら行っています。

□ゆとりのある人数

*パーティーでの交流やツアーに同行しての通訳、学校での保護者への説明会など多人数を相手にする通訳では、最大で4~5人につき1人の通訳が必要になります。

□事前の準備

*伝えたい内容、配布資料、スケジュール、会場図などをあらかじめ MIEF までお送りください。

膨大な資料をその場で読みこなして通訳することは困難です。資料が多い場合は、翻訳したものをご準備いただくようお願いする場合があります。なお、パートナーへ資料の郵送が必要な場合は、別途郵送手数料をいただきます。

*場合により、ふりがなをつけた資料の準備をお願いすることがあります。

*パートナーの負担を軽減するため、通訳方法や翻訳依頼のご検討をお願いすることがあります。

□集合場所および送迎へのご協力

*夜遅い時間帯のご依頼、集合場所が最寄り駅から離れている場合などは、パートナーの送迎をお願いすることがあります。

□担当者・責任者の同行

*通訳現場においては依頼者側の担当者や責任者が必ず同席・同行してください。現場がパートナーと通訳を必要とする参加者・出席者のみにならないようにしてください。

□ゆっくりと間をとって話すこと

*パートナーの通訳ペースに合わせて話してください。アイコンタクトなどで、通訳ができているかなどを確認しながら進めてください。

*専門用語は噛み砕いてお話しください。

*パートナーは、必要に応じて辞書で単語の確認をしながら、通訳を行うことがあります。

<翻 訳>

□翻訳しやすい原稿の準備

*翻訳したい文書を Word ファイルにタイプしてご用意ください。

*固有名詞・専門用語・氏名・住所などはふりがなをつけてください。

□わかりやすい文書の作成

*長文にわたる場合は、伝えたい要点だけを抜き出していただくと助かります。

*パートナーから届いた翻訳文書をそのまま納品しますので (MIEF で内容の確認は行いません)、どこをどのように訳すのか、ご希望がある場合は文書に明記してください。また、固有名詞などで定型の訳文・訳語がある場合は、事前に指定してください。

□「やさしい日本語」をおすすめします。

翻訳依頼の多くが、日本人向けの文書をそのまま翻訳してほしいというものです。しかし、日本人が読んでもわかりにくく、長文で複雑なものがほとんどです。そのようなものを外国語に翻訳することは非常に難しいです。また翻訳してもきちんと読んでもらえない可能性が高いです。翻訳を依頼する前に、文書そのものが読み手である外国人の方にとってわかりやすいのか、よくご検討ください。

外国人にもわかりやすい日本語のことを「やさしい日本語」といい、近年外国人住民へ情報提供する有益なツールとして広まっています。「やさしい日本語」の主なポイントは、①伝えたい情報を最小限に絞ること、②1文を短くすること、③ひらがな、ローマ字、漢字などの表記を工夫することです。愛知県発行の『や

さしい日本語」の手引き～外国人に伝わる日本語～』などをぜひ参考にしてください。

(参考 URL) <http://www.pref.aichi.jp/kokusai/easyjapanese/tebiki.pdf>

【 通訳・翻訳パートナー依頼についての Q&A 】

Q1 医療機関に通訳パートナーを紹介してもらえますか？

A ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語、英語、中国語については医療パートナー制度をご利用ください。ただし、個人からの依頼はお受けできません。www.mief.or.jp/jp/partner_iryuu.html

Q2 通訳・翻訳パートナーの指名はできますか？

A 原則としてできません。ただし、内容により考慮する場合があります。

(例：数回にわたり、同じ相談者の通訳をする場合など)

Q3 紹介された通訳パートナーにまた来てほしい。直接通訳パートナーに依頼してもいいですか？

A いいえ。必ず MIEF まで再度お申し込みください。

Q4 外国人観光客が通訳パートナーを紹介してもらうにはどうすればいいですか？

A 三重県観光連盟 <https://www.kankomie.or.jp/> にお問い合わせください。

Q5 通訳・翻訳パートナーはすぐ見つかりますか？

A 遅くとも 3 週間前までのご依頼をお願いします。特に、複数の通訳パートナーの依頼や翻訳依頼の場合は、できる限り早めのご連絡をお願いします。言語や日時によっては都合がつく通訳・翻訳パートナーが見つからない場合もありますので、ご了承ください。

Q6 通訳パートナーに事前に通訳内容に関する資料を渡すことはできますか？

A はい。できるだけ資料をお送りいただくようお願いいたします。通訳は事前準備が大切なため、通訳内容に関する情報、配布資料、当日使いそうな専門用語などは、可能な限り事前にお知らせください。

Q7 通訳当日、通訳パートナーに翻訳もお願いしてよいですか？

A 通訳パートナーがその場で翻訳を行うことはできません。活動は、当日その場での通訳に限られます。配布資料の翻訳などは、別途、MIEF まで事前にご相談ください。

Q8 翻訳はネイティブチェックを行っていますか？

A いいえ。別の翻訳者によるダブルチェックを行いますが、ネイティブとは限りません。

Q9 MIEF への通訳・翻訳依頼が難しい場合、どうすればよいですか？

A 通訳・翻訳の NPO 団体や専門会社がありますので、そちらにご依頼ください。